



◆ ジェネリックは国の厳しい審査をクリアしているので、有効性や安全性は折り紙つき。
先発医薬品からジェネリックに切り替えたいときは、医師や薬剤師に相談しましょう。

のみやすくする変更の例

	【先発医薬品】	【ジェネリック医薬品】
大きさ	大きかった薬を	小さく
口末	苦かった薬を	甘く
形状	普通の錠剤を	水がなくても口中で溶ける錠剤に

ジェネリック医薬品には、先発医薬品と同じ有効成分が使われていますが、添加剤は先発医薬品と異なる場合があります。ただし、添加剤の品質も厳しくチェックされており、有効成分の効き目と安全性に影響を与えないものが使用されています。また、製薬会社によつては、のみやすく工夫をしていることもあります。



**有効成分に影響のない
添加剤を
使用しています**

ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許期間（20～25年）終了後に、先発医薬品と同じ有効成分に添加剤などを加えて製造された医薬品です。有効成分の効き目と安全性は、長年使われてきた先発医薬品で十分に検証されています。また、開発段階でさまざまな試験を行い、厚生労働省の承認を受けて販売されています。



厚生労働省の承認を受けた医薬品です

ジェネリックって 本当に安全なの？

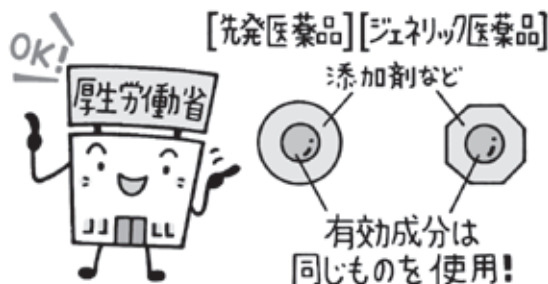


illustration / オモチャ

みなさんの小さなご関心・ご協力が力に

『あしたの健保プロジェクト』にみなさんの声をお届けください！

全国の健保組合で構成する健康保険組合連合会（健保連）では、『あしたの健保プロジェクト』をスタートさせています。このプロジェクトは、健保組合、健保連、都道府県単位で構成する都道府県連合会が、一体となって活動を行い、「納付金負担によって健保組合がおかれている厳しい財政状況を、社会一般に広報」「大きく偏った納付金負担のしくみの改革を政府に要求」といった目的のもと、現在、積極的に活動を展開しています。

このプロジェクトについて、みなさんにもご関心・ご協力をいただきたく、ウェブサイトを開設しています。ぜひ、当サイトにアクセスしていただき、お声をお寄せください。

あしたの健保プロジェクト

検索

賛同いただけるものについて、
「賛同する！」ボタンをクリック